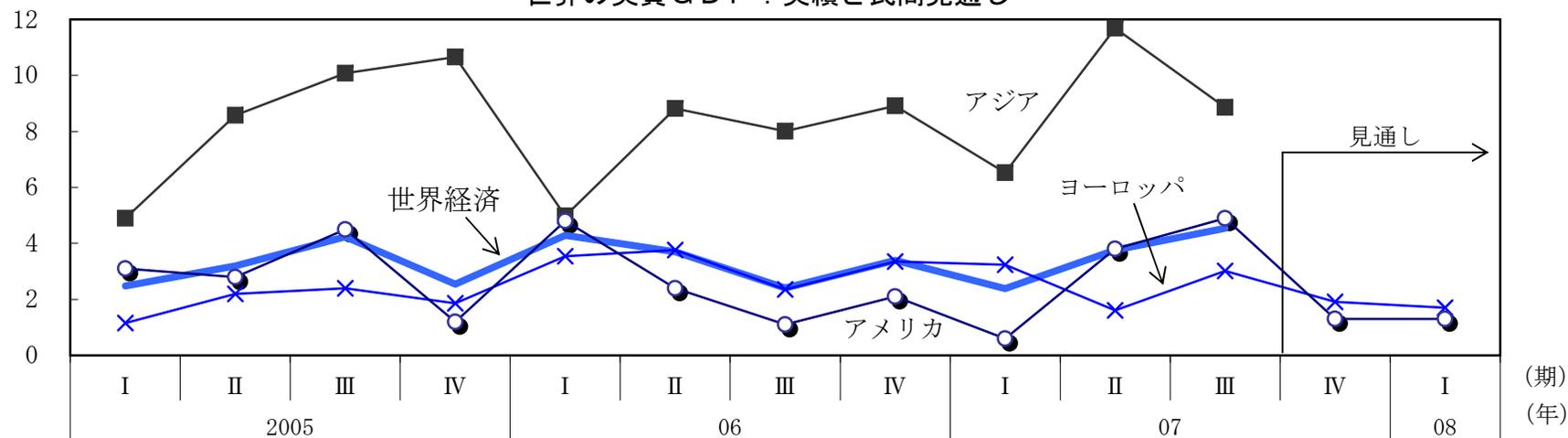


Ⅱ. 海外経済

	12月	1月
世界経済	景気は回復している。	(変更なし)
アメリカ	住宅建設の減少等により、引き続き景気回復は緩やかなものとなっている。先行きについては、金融資本市場の変動等により不透明感がみられる。	住宅建設の減少等により、引き続き景気回復は緩やかなものとなっている。先行きについては、サブプライム住宅ローン問題を背景とした景気の下振れリスクに留意が必要である。
アジア	中国等で景気は拡大が続いている。	(変更なし)
ヨーロッパ	ユーロ圏及び英国では、景気は回復している。	(変更なし)

(前期比年率、%)

世界の実質GDP：実績と民間見通し



(出所) 各国統計及び民間機関等見通しを基に内閣府作成。

(注) 1. 世界経済は、アメリカ、アジア、ヨーロッパの合計。アジアは、中国、韓国、台湾、シンガポール、タイ、マレーシアの合計。

ヨーロッパは、ユーロ圏、英国の合計。ウェイトは2003年名目GDP。

2. アジアのうち、中国(旧基準による試算)、台湾、マレーシアの季節調整系列は内閣府試算。

3. ヨーロッパの見通しはユーロ圏のみ。